



鷲の宮卓話

寝食を共にする

太田敬雄

研究所設立の背景となった平和への思いは強かったもののどのような活動を推進すればよいのかは明確では無かった。色々と模索する中で2002年が「日中韓国際交流年」であることを知り、その記念事業として日中韓の若者の交流プログラム、「多文化交流 in ぐんま」をスタートさせることとなった。

そこで参加国の大学生を対象に平和を目指す活動を立ち上げたわけだが、当時私が目にしてきた交流プログラムの真似をしている限り、平和への歩みにはならないと感じていた。どれを見ても、交流プログラムが終わると、またそれぞれの生活に戻ってしまい、明日につながるものが残らないように見えていたのだ。

プログラム終了後も共に平和を目指して歩み続けるには、遠く離れても友としてつながり続ける活動にしなければいけない。そのためには若者たちが友達になることから始める必要がある。一般に考えられているのは「違いを知り、お互いに理解し合ってから友達になる」という考え方なのだが、私は逆だと思った。友達になり、お互いを信頼し合う存在になってから、ゆっくりと違いを認め合い、受け入れていくのが人の自然なつながり方だと思った。

そう考えて多文化交流ではとにかく「友となる」ために活動を続けてきた。良い交流が出来れば理屈も理解も必ず後からついてくる。言葉も価値観も違う者たちが、いきなり違いの認識から取り組もうとすると、友になる前にお互い

の間に壁を作ってしまうことになりがちだ。

ではどうすれば「友になる」事が出来るのか。そのために必要なのが「寝食を共にする」ことだと考えている。江戸時代に私塾を開いた広瀬淡窓が記した四行漢詩「塾生に示す」の最後の一節に「君は川流を汲め 我は薪を拾わん」とあるのはよく知られている。これを今日風に表せば「寝食を共にする」だと思う。スタッフも参加者も、それぞれの役割を担いながら、つまり一人が川から水を汲めば、もう一人は薪を集め、生活を共にしながら一つの生活の場を作り上げていくことを意味する。それがIIMSの多文化交流なのだ。

例えば、昔の社会では大人であろうと子どもであろうと一人一人がそれぞれの役割を担う中で人の繋がりは出来ていた。それが社会の核となっていたのだ。そこでは「寝食を共にする」などと改めて言うまでもなかったのだ。しかし、社会が高度な成長を遂げると、人はお金と時間に支配されるようになり、周りの人との繋がりは余計なものとしていった。こうして他者との繋がりは余計なものになり、人は限りなく孤独になってしまった。

高度成長が悪いとは言わない。しかし、社会の「成長」の陰で失われていった人のつながりを何らかの形で復興させなければならない時が来ている。

「寝食を共に」し、「共に汗する」ことで友だち関係を生みだし、友だちのネットワークが平和な地球社会を生み出す：その先にしか私たちが希求する平和な地球社会は誕生しない。

2002年の多文化交流発足以来の世界の動きを観察すると、平和を望んで人類は、ほど間違いなく争いや戦争へと発展してきた現実が見える。その負の流れを断ち切り、平和への道を歩むには共に汗しながら、寝食を共にする友達関係を構築し、そのネットワークを広げていくたゆまぬ努力以外はない。

## 2024 年度総会報告

2024 年度の通常総会を 2024 年 5 月 25 日に開催しました。2023 年度事業報告、同会計報告及び監査報告、2024 年度事業計画、2024 年度予算そして役員人事を承認していただきました。

昨年度末で退任を表明されていた監事の幸田一彦さん、理事の金井美由紀さんには IIMS 創設時から支えていただきましたことを覚え、引かれるのは残念でしたが感謝を持って承認。代わって、監事には新島学園短期大学事務長の佐俣幹夫さん、理事には IIMS マラン事務局代表の菅ヶ谷マコさんに就任していただきました。

### 《2024 年度役員》

会長：太田敬雄、 理事長：太田琢雄、 副理事長：狩野真由美

理事：荒井美幸、岩丸愛、江口綾夏、渋谷和代、菅ヶ谷マコ、関千景、關橋賢、西加名子

監事：福田則行、佐俣幹夫、 顧問：伊藤成、野口紀子

### 貸借対照表

2024年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,692,164		
流動資産合計		3,692,164	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
【事】備品購入費	1,610,136		
車両運搬具	1,548,266		
減価償却累計額	-2,675,360		
什器備品	25,278		
有形固定資産計	508,320		
(3)投資その他の資産			
敷金	85,000		
投資その他の資産計	85,000		
固定資産合計		593,320	
資産合計			4,285,484
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	273,780		
預り金	695,868		
所得税預り金	685,660		
事業関係預り金	542,565		
流動負債合計		2,197,873	
2. 固定負債			
長期借入金	12,968,693		
退職給付引当金	725,000		
固定負債合計		13,693,693	
負債合計			15,891,566
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		-3,995,546	
当期正味財産増減額		-7,610,536	
正味財産合計			-11,606,082
負債及び正味財産合計			4,285,484



## 「多文化交流と私」

NPO 法人国際比較文化研究所スタッフ  
多文化交流コーディネーター  
松原雄斗

私が多文化交流に関わらせてもらうようになってからおよそ 10 年が経った今年の 2 月、多文化ぐんまの準備で研究所を訪れた際に太田先生から「多文化交流コーディネーター」の肩書を頂きました。

こんな立派な肩書を頂きましたが、私としてはスーパー雑用係の“まつんぼ”としてこれからも変わらずに関わらせて頂けると嬉しいです。

多文化交流の「より現場に近いところで応援したい」「太田先生と一緒に創り上げたい」「学生とたくさん交流したい」そう思う多文化関係者は世界中にたくさんいるだろうと考えています。そんな方々がたくさんいる中、ぐんまだけでなくマランにもプサンにも、コロナ前は親子多文化にも関わらせてもらい、時には太田先生と意見がぶつかったり指導をして頂いたり。本当に色々な思い・悔しさ・感動を経験させてもらっています。

このようなかけがえのない経験を積ませてもらい、この立ち位置で役割があることはとても光栄なことだと思っています。

「多文化交流とは？」と聞かれたら十人十色の表現がありますが、多文化交流の芯である『友達の輪を広げる、そのネットワークで地球を覆えた時に平和で豊かな地球社会が訪れる』という想いはブラすことなく。現場にいる学生スタッフ・参加者のみんな・OBOG の仲間達・陰から応援して下さる方々・たく先生、太田先生…大勢の方々と一緒に取り組みながら、私なりに多文化交流の力になれたらと思います。

<https://iims-japan.org>

# ホームページが 新しくなったよ!!



研究所のホームページが全面リニューアルされ、とっても素敵なページになりました。制作は多文化交流の卒業生たち!!数名がチームを組み、全てボランティアで時間をかけて愛情込めて作り上げてくれました。本当にありがたくて感動しています。当研究所の活動が良くわかるホームページです。皆様に観ていただけたら嬉しいです。

### ▼こだわりポイント by エンジニアチーム▼

●研究所らしい温かみのあるカラフルな色合いに！●「みんなちがって、へいわなせかい」という新しいキャッチコピーをみんな考えてみました。●誰にでも見やすいように文字のサイズ調整

やルビ機能をつけました。●研究所の 20 年近くの歴史がわかるように、沿革のページを新しく作成しました。

●同様に、今までの活動を一覧で見れるようにしました。●OBOG 限定の交流ページもご用意しました。

→まだまだスタートしたばかりです。皆様のご意見ご提案、お待ちしております！

## 2024 年度の IIMS の歩み

☆「オムニバス講座」今年度前期は6月12日は蜜蜂の研究者で元玉川大学の松香光夫氏。6月26日はNHK前橋のディレクター、小川由佳氏。29日には多文化交流 in 釜山 OG で現在パナマ在住の阿部優紀氏。そして7月10日には第1回の多文化交流 in ぐんま（2002年）に参加した山本貴彦氏でした。それぞれの講師の語られる「私の住む世界」はそれぞれに刺激的で、楽しい時間を過ごしました。

☆「多文化交流 in ぐんま 2024 夏」今回はから18日の予定。例年のように安中市の学習の森で開催されます。現在、スタッフの学生たちは多文化交流コーディネーター、松原雄斗氏と共にプログラムの企画作りに、また参加者募集の連日走り回っています。みんな脇で見ていてホレボレするくらいにキラキラと輝いています。

☆「多文化交流 in 韓国プサン」8月22日から28日の予定で釜山で開催されます。すでに日本からの参加者は定員に達し、10大学からスタッフも加えて18名が参加しますが、その中には群馬県外の4大学の学生も含まれています。きっと素晴らしい交流が出来る事でしょう。

☆今年度も IIMS の活動は大勢の皆様の会費やご寄付に支えられています。有難うございます。

### 会費及びご寄付のお振込みについて：

#### 【クレジットカードによる手続き】

下記 QR コード、もしくは IIMS のホームページからアクセスして頂き手続き・ご登録ください。



研究所 (IIMS) のホームページ  
<http://www8.wind.ne.jp/mthc>

#### 【振込用紙による手続き】

郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所  
口座番号 00510-1-61974

ニュースレターを郵送させていただいた皆様には、振込用紙を同封させていただきます。これは請求書ではなく、一律に皆様にお送りしているもので、すでに会費をお振込み下さった方にもお送りしています。

メールでニュースレターをお送りしている方々には振込用紙をお届けできません。特に会費の請求はお送りしておりませんが、郵便局の振込用紙、もしくはカードでお振込みくださいますようお願いいたします。

### ご入会状況及び会費・寄付振込状況 (24.4.1.~7.10.)

#### カード振込 (23.3.1.~5.31.)

会費のカッコ内は年度。カッコ無しの氏名のみは2024年度会費。敬称略

正会員会費：幸田一彦 (23,24)、鈴木布美子、関橋賢、関千景、根岸大輔、岩丸愛、福田則行、狩野真由美、菅ヶ谷由美子、太田玲子、太田敬雄、渋谷和代、荒井美幸(23,24)、伊藤成、

賛助会員会費：荒井和子、清水久美、木村隆、上田暢子、熊倉浩靖、高橋美一、森泉孝行、吉野愛子、大澤直子、坂田くるみ、森泉英司、相川洋美、千木良和子、小林慎樹、小原智、増山律子、片岡謙、斉木雄作、高山佳葉、Candy、藤本恵大、横井宏行、増井杏奈、齋藤正典、佐藤貴雄、板垣剛、岩井均、新井瑞穂、堀越美津子、木暮道子、山村由美、青葉由香、

一般寄付：幸田一彦、齋藤正典、狩野真由美、岩井智子、堀越美津子、太田玲子、太田敬雄、木暮道子、栗野明子、渋谷和代、伊藤成、

多文化交流寄付：菅ヶ谷由美子、まなぱる寄付：板垣剛、

毎月寄付：樋本達之、根岸大輔、Rosdiana Febrianti、藤本恵大、内野春香、片岡謙。

編集後記：◎2023年度最後のNewsletterに続き、今号も一ヶ月以上遅れてしまい6月・7月号としました。遅くなって申し訳ないです。

◎ホームページをリニューアルに、何人かの有志が頑張ってくれています。素晴らしい出来上がりです。ぜひ開いてみて下さい！

◎ジャガイモ、エンドウ豆、玉ねぎは終わり、今はきゅうり、なす、トマトを少しずつですが毎日収穫しながら、仕事を問われて「若い芽を育てる仕事」と答えた昔を思い出しています。(敬)

発行：特定非営利活動法人国際比較文化研究所  
事務所：379-0124 群馬県安中市鷺宮 3413-3  
電話：027-382-5998 FAX:027-382-6393  
研究所：<http://www8.wind.ne.jp/mthc>  
メールアドレス：[iims.since2000@gmail.com](mailto:iims.since2000@gmail.com)  
まなぱる：<https://www.manapal.jp>  
メールアドレス：[mail@manapal.jp](mailto:mail@manapal.jp)  
郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所  
口座番号 00510-1-61974